

# 【公益財団法人天風会 令和2年度事業報告書】

(抜粋掲載)

令和2年度、創立101年目を迎え、次の100年への新たな一步を踏み出す年でありましたが、奇しくも全世界が新型コロナウイルス感染の猛威にさらされ、ほぼ全ての行事を集合形式で実施してきた当会も、大きな試練と向き合うこととなりました。しかし、こういう時だからこそ、この教えを届けたいとの思いから、全国各地で工夫を凝らしたオンラインによる行事が盛んに行われるようになり、活動の新たな方向性を見出すことができました。昨年度から引き続き、常に想定外の事態への対応を求められる年度ではありましたが、社会の変化に対応し、時代の流れに調和する柔軟さを大切にしながら、天風哲学、心身統一法を次の世代へと繋ぐ体制の具体的構想と準備に力を注いでまいりました。

## I 公益目的事業

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当初計画されていた行事の多くを中止、またはオンラインによる開催に変更して実施した。

### 1 「心身統一法」普及事業

#### (1) 会館行事（財団主催行事）

- ①講習会（Zoomでの配信、財団YouTubeチャンネルで講義映像の公開）
- ②土曜行修会
- ③天風哲学ビジネスセミナー
- ④研修科（東京の会へ運営を委託し開催）
- ⑤オンライン特別行修会（修練会中止に伴い8月と9月の2回開催）
- ⑥TC-WOMANオンライン特別教室
- ⑦医学・科学レクチャーシリーズ「安定打坐法を科学する」
- ⑧いまを打開するための心のセミナー（オンライン特別行修会）

#### (2) 委託行事

各地の賛助会へ運営を委託し、全国的に心身統一法の普及活動を行った。財団主催行事と同様に、多くはオンライン形式での開催となったが、集合型で実施する場合には、財団が制定したガイドラインに従って運営することで、感染防止対策に努めながら実施した。例年行われていた、修練会及び秋期瞑想行修会は開催中止とした。

#### (3) 賛助会行事

各賛助会で自主的に開催される行修会や勉強会等について、運営指導や助言を行った。

#### (4) 外部講演会

- ①よみうりカルチャーセンター：講座「運命を拓く」中村天風の教え全5会場（横浜、恵比寿、錦糸町、川越、大宮）で実施した。
- ②西宮市公民館活用促進プロジェクト（神戸の会に運営を委託）

#### (5) 賛助会への助成・運営支援等

- ①全国19賛助会に対して、活動補助金を配賦

②賛助会代表者会議を1回開催（オンライン）

## 2 調査研究活動

- ①教務委員会の開催（オンライン・7回）
- ②講師ライブラリーの運用
- ③講師養成（講師補及び研修員の育成。新たな研修員の募集と審査）
- ④「心身統一法」行修リーダー制度
- ⑤出版物等の監修
- ⑥教学的研究

## 3 出版・広報事業

- ①財団出版物の企画・制作
- ②財団出版物及び監修出版物等の販売
- ③財団機関誌「志るべ」（月刊）の発行
- ④出版物の発行に向けた検討
- ⑤ホームページの更新と保守管理
- ⑥広報活動
- ⑦財団動画・音声配信サイト（財団の活動自粛により、令和2年中は全ての動画を無料で配信。令和3年1月から有料配信を開始）

## II 収益事業等

- ①一般社団法人アイピースーとの天風会館5階の賃貸契約を継続
- ②1階と4階は株式会社ティーケーピーに委託し、賃会議室として運用
- ③東京の会との地下1階一室の賃貸契約を継続
- ④飲料メーカー（5社）と自動販売機設置契約を継続

## III 法人運営に関する事項

1 人事：任期満了に伴う理事・監事の改選が行われた。

（任期：令和3年度の決算評議員会終結時まで）

諸課題の解決の促進を図るべく理事の担当区分を一部変更した。

2 組織

①オンライン講習会・行修会等検討員会を設置し、オンライン行事实施に関する方針の検討を行った。

②危機管理委員会において、新型コロナウイルス感染防止に関するガイドラインを作成、適宜見直しを行い、行事運営に関する指導を実施した。

3 会議

(1) 理事会を10回、評議員会を2回開催

(2) 各委員会及び担当理事ごとに会議を開催

以上